

平成 28 年 6 月 16 日  
June 16th, 2016

大学院学生各位  
To All Graduate Students

平成 28 年度  
**基盤医学特論 開講通知**

Information on Special Lecture (TOKURON) 2016

**題目： mRNA 分解と遺伝子発現制御**

Title: Mechanism of mRNA decay

**講師：星野 真一 先生**

名古屋市立大学 大学院薬学研究科 遺伝情報学分野 教授

Teaching Staff: Dr. Shinichi Hoshino

Department of Biological Chemistry, Graduate School of Pharmaceutical  
Sciences, Nagoya City University

**日時：平成 28 年 8 月 4 日（木）16:00～17:30**

Time & Date : 16:00～17:30, August 4th (Thu), 2016

**場所：環境医学研究所北館セミナー室(N-201)**

Room: N-201 (Seminar Room), North Building, Research Institute of Environmental Medicine  
(Higashiyama Campus)

**言語：日本語**

Language: Japanese

**{特論の概要}** 遺伝情報であるメッセンジャーRNA は、DNA と蛋白質の間で遺伝情報の仲介役としてはたらく重要な分子であり、その分解調節は転写と同様遺伝子発現制御において中心的な役割をはたしている。mRNA 分解の研究はここ 30 年の間に急速に進展し、遺伝子発現調節という役割の他にも、生体内で異常な mRNA が出来た場合にそれを除去する品質管理、そして生体外より侵入した外来性のウイルス RNA を分解除去する抗ウイルス防御という 3 つの生理的役割が明らかにされてきた。本講義においては、mRNA 分解の律速段階が 3' 末端ポリ A 鎖分解にあることを概説し、ポリ A 鎖の分解を促進することによる遺伝子発現の負の制御と、逆にポリ A 鎖伸長による正の遺伝子発現制御について紹介する。さらに、このような転写産物特異的な遺伝子発現制御に加えて、グローバルな遺伝子発現制御が存在することを、ストレスによる調節を代表例として紹介する。

関係講座・部門等の連絡担当者：分子機能薬学（環境医学研究所 ゲノム動態制御分野） 益谷 央豪（内線 3871）  
（鶴舞・大幸地区からは、85-3871）

Contact: Dept. of Genome Dynamics, Research Institute of Environmental Medicine.

Phone: ext. 3871 (or 85-3871 from Tsurumai & Daiko campuses)

[注意] 事前の申込みは不要です。

Notice: No registration required.

医学部学務課大学院掛

Student Affairs Division, School of Medicine